高岡市民病院だより
Heart
Hospitality
Excellent
Amenity
Relationship
Trust
No.66
JAN. 2024

国宝勝興寺（画像提供：高岡市）

院長
藪下 和久

始めに、能登半島地震に被災された方へ、心よりお見舞いを申し上げます。

新型コロナウィルス感染症も5類感染症に移行し、収束しつつある現状と思われます。しかしながら、コロナに代わってインフルエンザウィルス感染症が増加しており、当院発熱外来を訪れる患者さんも無くならない現状です。我々医療機関におきましては、感染症は今後も重要視されなければならない疾病と考えられます。高岡医療圏の公的病院、医師会、近隣医療機関の皆様におかれましては、感染症対策に関し、これまで同様のご協力ご支援をお願い申し上げます。

高岡医療圏の人口減少に伴い、急性期病床数の見直しが問われています。また、高齢者夫婦のみの世帯、高齢者独居の世帯が急増し、急性期医療が終了した後も在宅復帰が困難な患者さんが増えてきています。高岡市民病院は高岡市自治体病院として、また地域医療支援病院として、急性期治療以後の回復期、慢性期の治療、訪問看護さらには訪問診療に関し、皆様方との連携を含め、リーダー的立場を取らねばならないと考えています。さらに地域包括ケアシステムの構築という観点からも、当院の指導力が求められていると思われます。増加している高齢者の医療に関して、本年もこれまで同様のご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

Heart
心のかよいあう医療を

【題字について】

Hospitality	こころのこもった接遇
Excellent	良質な医療で健全経営
Amenity	快適な療養環境
Relationship	人材を育成しよりよい人間関係
Trust	地域との信頼関係の構築

患者の皆様の権利を尊重します

本院では“生命の尊重と人間愛”を基本理念に、患者の皆さんと協同して最良の医療を提供できるよう以下の権利を尊重します。

1. 平等で最善の医療を受ける権利
2. 個人の尊厳が守られる権利
3. 説明にもとづき医療行為を選択する権利
4. 診療情報を得る権利
5. プライバシーが守られる権利

新年のご挨拶

2024
HAPPY NEW YEAR

理事（経営戦略担当）・副院長
伊藤 博行

新年あけましておめでとうございます。

昨年のゴールデンウイーク後、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行しました。それに伴い、マスクの着用率の低下によるものか、個人の免疫機能の低下によるものか、ここ数年、なりを潜めていた多くの感染症が発症しています。特にインフルエンザはここ数年に比べ多く、現在も増加しています。あわせて、新型コロナ感染者も一定数見られ、医療機関の皆さまにおかれましては、有熱者の診療には今も、ご苦労があるものと思います。当院は第二種感染症指定医療機関であり、2次救急医療を担う病院として今後も発熱者の診療も担っていきます。

一方、今年は医師を筆頭に職員の働き方改革が進められます。まず、職員が心身ともに健康に勤務してこそ、患者の皆さんに良好な医療が提供できるものと考えます。時間外労働時間の短縮が推進され、職員の労働環境が改善するよう努めていきたいと思います。

本年もよろしくお願い申し上げます。

副院長・地域医療部主任部長
福島 亘

新年あけましておめでとうございます。昨年のご挨拶では、「新型コロナウイルス感染症の収束を確認できぬまま新年を迎えることとなりました」と書かせていただきましたが、その後、徐々にコロナ前の日常に戻り、学会出張や会合なども昔と同じ様に行われることで休暇が少なくなり、逆にコロナ流行時が懐かしく思うことさえある今日この頃であります。昨年11月に開催した“ふれあい健康フェスティバル”には500人を超える参加をいただきました。現在の医療に接していただくとともに、病院をもっと身近に感じていただきたく3回目の開催となりましたが、盛会に終わりましたこと大変感謝しております。今年も新たな企画で楽しい時間を過ごしていただけるよう検討していきたいと考えております。

少子高齢化が進み、医師の働き方改革も始まりますが、これからも皆様のご要望に応えられるよう切磋琢磨していくつもりでございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

看護部長
稲見 年美

私達は、病気を患い痛みがある、自由に動けない、食べる気力がないなどの患者さんに対して、人と人の温もりが感じられるように、患者さんの想いに寄り添った看護をすることを大切にしています。最近は、人と人との交流の場が増えて、和んだり楽しんだりできる機会が増えました。これからは、療養生活の中でもそのような機会をもっていきたいと思っています。また、患者さんがもと居た生活に早く戻れるように、ご家族や地域の医療福祉関係者の皆さまとも連携をもち、情報共有し、患者さんが安心して地域で暮らせるように環境を整えていきます。今後も患者さんの持つ力を引き出し、その人らしい生活ができるように、職員同士協力し、「この病院を選んでよかった」と思って頂けるように努力していきます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

新しい会議室を開設しました

本院に隣接する旧高岡市立看護専門学校跡地に、敷地内薬局と会議室ができました。会議室では、プロジェクターや音響設備、給湯室を備えており、看護実習や各種会議のほか、地域の医療機関との合同カンファレンスなどにも活用してまいります。

■ 開始月　令和６年１月から
■ 会議室の種類
・A-１会議室：42.40㎡
・A-２会議室：42.40㎡
・ミーティング室：13.00㎡
■ 特徴
・A-１会議室、A-２会議室は、移動式のパーテーションを備えており、　仕切りをはずして一つの大きな会議室として使用できます。
・A-２会議室は、昇降型のスクリーンを備えています。
・会議での使用や看護学生の実習にも活用します。

A-１、A-２会議室

ミーティング室

BAKERY & CAFE CAFE CORE

毎日、店舗で焼いています!!

毎朝、店内で焼き上げた、約20種類の食事パン、菓子パンが並びます。毎月初めには、季節限定商品も販売中。当日の分のみを焼いて提供しているため、品切れの時はごめんなさい。

15時以降は、売店で買える時も!!

一番の人気は、外側がカリカリ、中はフワフワのメロンパン。おすすめは、ちょっと古い話ですが、某ドラマで俳優さんが食べていたパンは、カフェコアのクリームパンなのですよ！

手作りのカフェ弁当

お昼時間に合わせて、毎日、日替わりのカフェ弁当も500円～販売しています。温かいごはんを、よそって提供します。カフェコアの焼きたてパンで作ったサンドイッチも好評です。

焼き立て・作り立て・安心を毎日提供してます。

New face 新任医師紹介

道具 伸浩（どうぐ のぶひろ）

脳神経内科／主任部長
10月1日入職
専門：脳神経内科
出身：富山県高岡市
資格・学会：日本内科学会総合内科専門医、指導医
日本神経学会専門医、指導医 日本脳卒中学会専門医、指導医

Doctor's Side

Q これまでの経歴を簡単に教えてください。

A 1999年に富山医科薬科大学（現富山大学）を卒業して第二内科に入局しました。研修期間が終了して飛騨市民病院、東京都済生会中央病院を勤務して2004年に富山大学に戻ってきました。2005年に脳神経内科が独立した際に移籍して、19年間ずっと大学で勤務していました

Q 高岡市民病院の印象は。

A どの先生もフットワークが軽くて優秀だと感じました。また、脳神経内科医に求められる役割が全く違っていて驚きました。大学では主に変性疾患を診療して、脳梗塞を診療する機会はもちろんありましたが、当院は殆どが脳梗塞の緊急入院でした。

Q 脳神経内科医になろうと思った理由は。

A 大学時代に授業を聞いて面白そうだと思ったことですね。

荻野 奈緒（おぎの なお）

産婦人科／医師
10月1日入職
専門：産婦人科
出身：京都府亀岡市
資格・学会：日本産婦人科学会専門医、日本産婦人科内視鏡学会、日本婦人科腫瘍学会、日本臨床細胞学会

Doctor's Side

Q これまでの経歴を簡単に教えてください。

A 医師6年目です。
大学→高岡市民病院→厚生連高岡病院→大学→高岡市民病院です。

Q 高岡市民病院の印象は

A 先生方が優しい。
あいさつが盛んな印象です。

Q 産婦人科医になろうと思った理由は。

A 胎内環境は、出生後から将来的な生活習慣病発症のリスクにまで影響を与えるので、母体の管理をすることで間接的に女性だけでなくたくさんの人の役に立てると感じたから。

Q 休日はどのように過ごされていますか。

A 旅行、キャンプ

安川 瞳（やすかわ ひとみ）

泌尿器科／医長
10月1日入職
専門：泌尿器科一般
出身：新潟県新潟市
資格・学会：日本泌尿器科学会専門医、日本臨床腫瘍学会、日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会

Doctor's Side

Q これまでの経歴を簡単に教えてください。

A 泌尿器科として一年目は新潟県上越市の病院で、以後は富山大学で勤務しておりました。

Q 高岡市民病院の印象は

A 高岡市民病院には、数年前に外来診療に従事させていただいたことがあります。職員の方々が一丸となって患者さんの診療にあたっているという印象を持っておりました。私自身もその一員として貢献できるよう、全力投球させていただく所存です。

Q 泌尿器科医になろうと思った理由は。

A 腎臓や膀胱という泌尿器科で扱う臓器が好きだったこと、そして当時富山大学に泌尿器科医が少なく、医師になりたいと考えた理由である人の役に立ちたい！という想いを体現できる場になるかなと思ったことが決め手でした。

Q 休日はどのように過ごされていますか。

A 休日と言いますか休日前夜の楽しみは……一途にビールです！

新規開業されたクリニックの紹介

訪問診療

さいとー内科

〒935-0015
富山県氷見市伊勢大町２丁目3-9
TEL. 0766-74-1173

斎藤 淳史（さいとう あつし）
院長

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	○	○	／	／
13:30～17:00	○	○	○	○	○	／	／

休診日：土・日・祝日

これまで氷見市民病院をはじめ様々な病院にて腎臓内科を担ってきた斎藤淳史先生。2023年5月に氷見市伊勢大町にて『訪問診療さいとー内科』を開院しました。

「父親が地域医療のドクターとして今も仕事をしており、小さい頃からその姿を見ていたのでやはり地域医療に興味がありました」と大きな病院での研鑽にやりがいと責任感を持ちながらも、色々な都合で病院に来られなくなってしまう通院困難な方に対し、医療の継続的ケアができるよう身近な所にいてあげたいとの思いから地域での開院に繋がっていきました。

「これまでに腎臓病と血液透析の担当も長くやってきました。その時から通院サポートや自宅で具合が悪くなった場合など患者さんの病気は家族みんなで支える必要があるんだよという考え方を基本にしており、病を診るという事は家族全体を支えるという事を考えないといけないと思っています。」患者さんとそのご家族が暮らす地域への思いは優しく強く、その思いが「さいとー内科」のロゴマークやHP（ホームページ）のデザインにも表れており、マークは氷見の里山里海と皆が集う家、そしてHPの絵柄は「昼でも夜でも車でどこへでも行きますよ～」というメッセージになっています。地域と連携を取りながら皆さんの健康を支えていきます。

とりた内科クリニック

〒933-0014
富山県高岡市野村1830
TEL. 0766-30-3363

鳥田 宗義（とりた むねよし）
院長

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	―
14:30～18:00	○	○	○	―	○	―	―

休診日：木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

出身地の高岡市で開院したいという思いから「縁があって」高岡市野村に2023年10月に開院した「とりた内科クリニック」。

これまで生活習慣病や内分泌代謝疾患を専門として診療されてきた鳥田院長ですが、風邪やインフルエンザの症状から生活習慣に基づくアレルギー疾患、予防接種、検診、在宅医療といった人々の暮らしと常にある様々な病気や健康の問題に寄り添い、地域の健康に貢献したいとの思いで開院されました。

病院名を「とりた」とひらがな表記にした経緯には「どうしても漢字だと違う名前で言われてしまうこともあるので、ひらがなにしました」と笑顔で語る院長からは、小さなお子さんからご高齢の方にもわかりやすくとの優しさが伝わってきます。その院長の好きな言葉は「実るほど頭（こうべ）をたれる稲穂かな」とのことで「私自身もそうですがスタッフにもとにかく優しくと伝えています。患者さんは来院時、不安な気持ちで来られる方が多いと思いますから、安心して帰っていただきたい」とスタッフ皆と心をそろえて地域医療に取り組んでいます。

また予約や会計などをスムーズに行うことができるアプリ「デジスマ診療」を導入し、決済や予約管理などが便利に利用できるようになっています。地域の“優しさ拠点”として皆さんの健康に寄り添っていきます。

【開催日】令和5年11月12日(日)

ふれあい健康フェスティバル

を開催しました。

市民の健康意識向上と、地域の皆様に親しまれる病院を目指し、開催された当イベントは、悪天候にも負けず、多くの笑顔と元気を育んだ一日となりました。

吉本芸人「ものいい」のお笑いステージは会場を一気に盛り上げました。また、伝統と新しさが融合した「津軽三味線芸人　中山孝志さん・安藤有希子さん」の迫力満点のパフォーマンスは観客を大いに沸かせました。

雨の中でも足を運んでいただいた540人余りのご来場の皆様、本当にありがとうございました。

バックヤード探検隊や体験ブースが賑わいました！

「バックヤード探検隊」のコーナーでは、普段見ることのできない手術室で参加者らは手術着に身を包み、電気メスで、実際に鶏肉を切る体験を行いました。放射線検査室では、最新のレントゲン、MRI、CTなどの検査機器について、その役割などを学びました。

その他、健康に関するブースやワークショップも行列ができるほどの盛況ぶりで、ご来場の皆様には混雑によりご迷惑をかける場面もありましたが、楽しみながら学んでいただけたことと思います。ご来場いただいた皆様、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。今後も、市民の皆様に親しまれる病院として努めてまいります。

Heart 高岡市民病院だより　No.66　2024年1月発行
発　行：広報委員会　〒933-8550　富山県高岡市宝町4番1号　TEL.0766-23-0204　FAX.0766-26-2882
©TAKAOKA Hospital